

【2022年卒 インターンシップ・就職活動準備の現状に関する調査】 インターンシップの満足度でその後の選考参加意欲に差

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 学）の研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、「2022年卒 インターンシップ・就職活動準備の現状に関する調査」を実施しました。2021年1月時点の調査結果をまとめましたので、ご報告申し上げます。

Web上での就職活動準備が進む。企業はインターンシップでどんな体験を提供できるかが重要

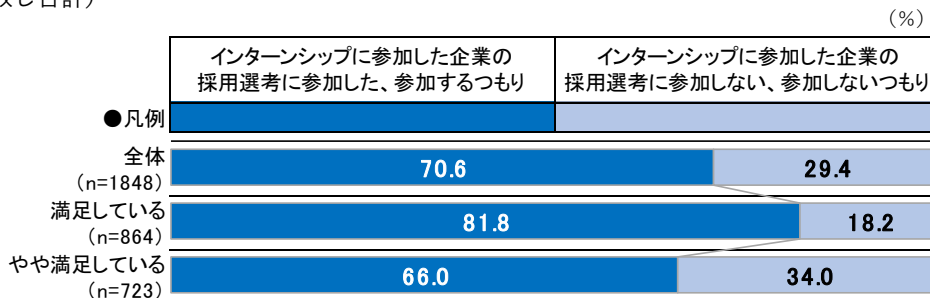


所長 増本全

今回は、2022年卒の学生の「インターンシップについての満足度」を調査しました。2021年1月時点でインターンシップへの参加社数は平均8.77社でした。さらに、インターンシップ参加形態の内訳を聴取したところ、Webが6.76社、対面が2.25社でした。2021年卒6月時点の、Web1.57社、対面7.14社と比べて変化が見られます。対面からオンラインへ就職活動が移行し始め手探りだった21年卒と比べ、22年卒の学生は就職活動準備期からWeb上でのコミュニケーションや情報収集に慣れているでしょう。3月以降も就職活動をスムーズに進めるために、今後も積極的にオンラインを活用する必要がありそうです。また、インターンシップの満足度に着目すると採用選考参加との関係が見えてきました。インターンシップに参加した企業の採用選考への参加意向を聴取したところ、インターンシップに「満足している」と回答した学生では「採用選考に参加した、参加するつもり」が81.8%であったのに対して、「やや満足している」と回答した学生では66.0%でした。仕事理解、職場理解の場であっても、インターンシップの満足度次第で学生の企業に対する志望意欲は低下し、応募行動に影響することが分かりました。学生のコメントを見ると「説明だけでは会社説明会と変わらない」という声もあります。自社が伝えたいことだけでなく、学生にどんな経験・体験を提供できるのが、インターンシッププログラムを考えるうえで重要だと考えます。

* インターンシップには1日の仕事体験型も含む

■2022年卒）インターンシップ参加企業の採用選考参加意向（「満足している」「やや満足している」抜粋）
（大学生・就活経験者・インターンシップ経験者／複数回答・インターンシップ参加企業最大5社分についてそれぞれ聴取し合計）



本件に関する
お問合せ先

株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
TEL：03-3211-7117 Mail：kouho@waku-2.com

調査概要

調査方法：インターネット調査

集計方法：大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近付けるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

■2022年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査（2021年1月時点）

調査目的：2022年卒学生のインターンシップ・就職活動準備の現状を把握する

調査対象：2022年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2022』（※）にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生2,051人（内訳：大学生1,616人/大学院生435人）

調査期間：2021年1月15日～21日

回答者数：大学生 583人 大学院生 206人

■2022年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査（2020年9月時点）

調査目的：2022年卒学生のインターンシップ・就職活動準備の現状を把握する

調査対象：『リクナビ2022』会員・インテージ社のモニターより、2022年3月卒業予定の大学生および大学院生

調査期間：2020年9月18日～25日

回答者数：大学生 2,043人 大学院生 291人

■2021年卒 2020年6月TOPIC調査

調査目的：大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

調査対象：2021年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2021』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生4,198人（内訳：大学生3,325人/大学院生873人）

調査期間：2020年6月12日～19日

回答者数：大学生 915人 大学院生 377人

■2021年卒 2020年3月TOPIC調査

調査目的：大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

調査対象：2021年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2021』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生1,706人（内訳：大学生1,317人/大学院生389人）

調査期間：2020年3月19日～26日

回答者数：大学生 327人 大学院生 143人

※リクナビ：株式会社リクルートキャリアが運営している、就職活動を支援するサイト

<https://job.rikunabi.com/2022/>

◀ 調査結果を見る際の注意点 ▶

- ・ %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値と計算値が一致しない場合がある
- ・ データは無回答サンプルを除いて集計している
- ・ 2022年卒業を「2022年卒」と表記
- ・ 2021年卒業を「2021年卒」と表記

◀ 調査の集計について ▶

- ・ 「2021年1月時点での進路の志望状況」において、①～⑥と回答した者を「就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む」として集計する。

■2021年1月時点での進路の志望状況（大学生／複数回答）

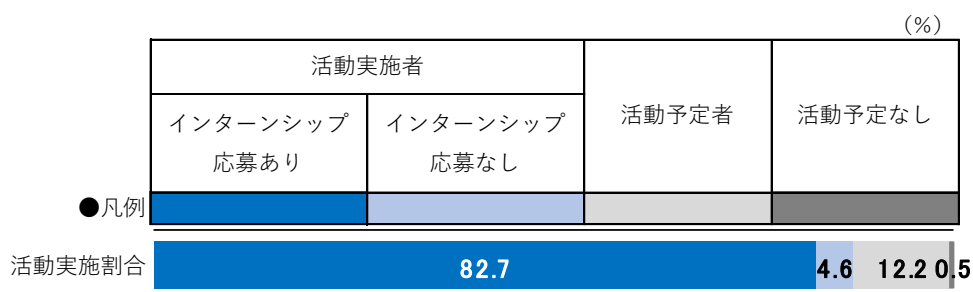
	n数	① まだ志望進路を決めていない	② 民間企業に就職したい	③ 公務員として就職したい	④ 教員として就職したい	⑤ 医師・歯科医師・看護師として就職したい	⑥ 公務員・教員・医師・歯科医師・看護師以外で民間企業ではない組織・団体に就職したい	⑦ 起業したい	⑧ 大学院等へ進学したい	⑨ 留学したい	⑩ 留年するので卒業しない	⑪ その他
卒業後の志望進路	583	4.6%	87.9%	15.6%	2.2%	0.4%	6.5%	0.5%	9.7%	4.3%	0.7%	0.9%

Webのインターンシップは活動実施者の89.1%が参加

学生のインターンシップ参加割合は就職意向者(まだ志望進路を決めていない含む)全体のうち82.7%であった。またWebのインターンシップに参加した学生は活動実施者全体のうち89.1%であった。

■2022年卒) インターンシップ活動実施状況

(大学生_就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む/単一回答)



■2022年卒) インターンシップの応募状況、参加状況

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動経験者/数値回答)

	n数	インターンシップ応募		インターンシップ参加	
		割合	平均数	割合	平均数
大学生全体	495	97.4 %	13.85 社	94.8 %	8.77 社
文系	348	96.6 %	14.75 社	93.8 %	9.19 社
理系	147	99.2 %	11.79 社	97.2 %	7.79 社

■2022年卒) 実施形態別インターンシップの参加状況

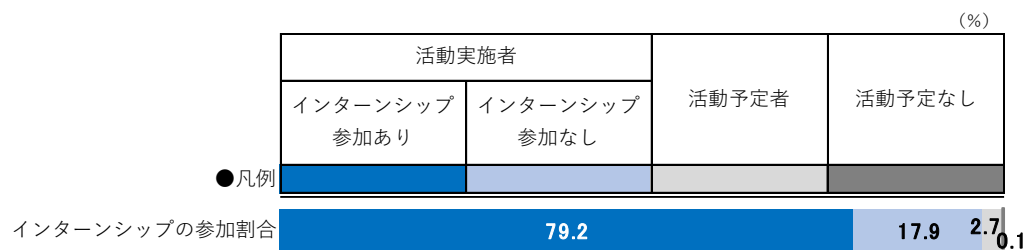
(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動経験者/数値回答)

	n数	Web参加		対面参加	
		割合	平均数	割合	平均数
大学生全体	495	89.1 %	6.76 社	68.3 %	2.25 社
文系	348	89.5 %	7.12 社	65.9 %	2.32 社
理系	147	88.2 %	5.93 社	74.2 %	2.11 社

(参考) 2021年卒 活動実施の割合、インターンシップの応募・参加状況、実施希望形態

■2021年卒) 2020年3月1日時点 活動実施の割合

(大学生・就職志望者/単一回答)



■2021年卒) 2019年10月～2020年3月におけるインターンシップの応募状況、参加状況

(大学生・就職志望者/数値回答)

	n数	インターンシップ応募		インターンシップ参加	
		割合	平均数	割合	平均数
大学生全体	290	83.2 %	6.09 社	80.8 %	4.64 社
文系	204	81.0 %	6.22 社	79.2 %	4.64 社
理系	86	88.3 %	5.81 社	84.4 %	4.63 社

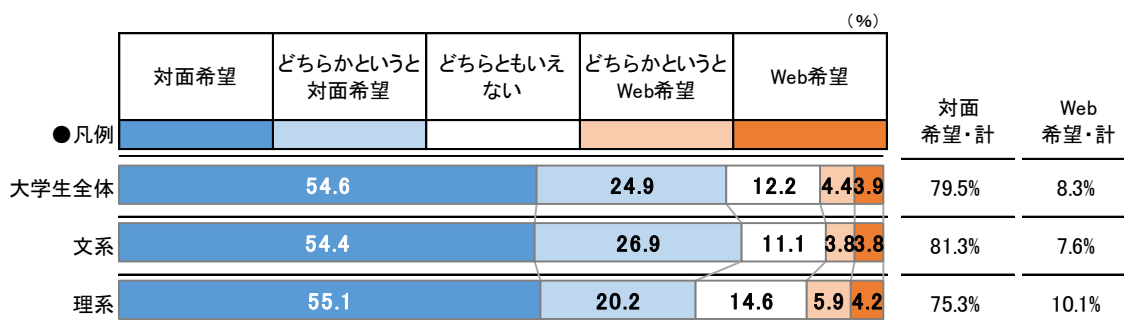
■2021年卒) 2020年6月時点 実施形態別インターンシップの参加状況

(大学生・就職志望者/数値回答)

	n数	Web参加		対面参加	
		割合	平均数	割合	平均数
大学生全体	571	9.7 %	1.57 社	92.5 %	7.14 社
文系	385	9.7 %	1.67 社	93.3 %	7.64 社
理系	186	9.7 %	1.37 社	90.8 %	6.08 社

■2021年卒) 2020年6月時点 インターンシップ実施希望形態

(大学生・就職志望者/単一回答)

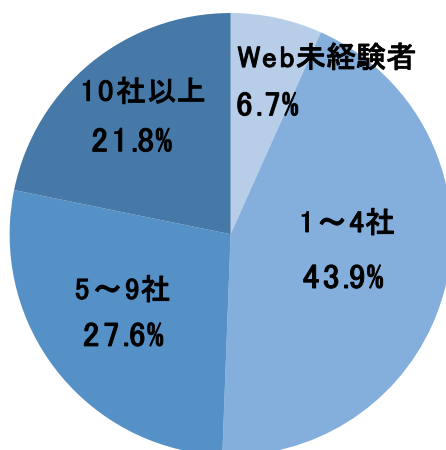


Webインターンシップ経験有無で、対面・Web希望に差

Webによるインターンシップの経験企業数を見ると「Web未経験者」が6.7%、「1~4社」が43.9%、「5~9社」が27.6%、「10社以上」が21.8%であった。インターンシップ対面・Webの希望をWebインターンシップの経験企業数別に見ると、Web希望・計の学生は「Web未経験者」が19.4%、「1~4社」が27.0%、「5~9社」が32.0%、「10社以上」が46.1%であった。

■2022年卒) Webで実施されたインターンシッププログラムの経験

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ経験者/単一回答)



■2022年卒) インターンシップ実施希望形態 (Webインターンシップ経験企業数別)

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ参加経験者/単一回答)

凡例	(%)					対面希望・計	Web希望・計
	対面希望	どちらかという と対面希望	どちらともい えない	どちらかという とWeb希望	Web希望		
● 全体 (n=469)	23.9	30.9	13.2	17.6	14.4	54.8%	32.0%
* 未経験者 (n=31)	33.9	33.3	13.3	11.1	8.3	67.2%	19.4%
1~4社 (n=206)	28.7	31.0	13.3	15.5	11.5	59.7%	27.0%
5~9社 (n=130)	21.6	32.7	13.8	18.7	13.3	54.3%	32.0%
10社以上 (n=102)	13.8	27.7	12.4	22.7	23.4	41.5%	46.1%

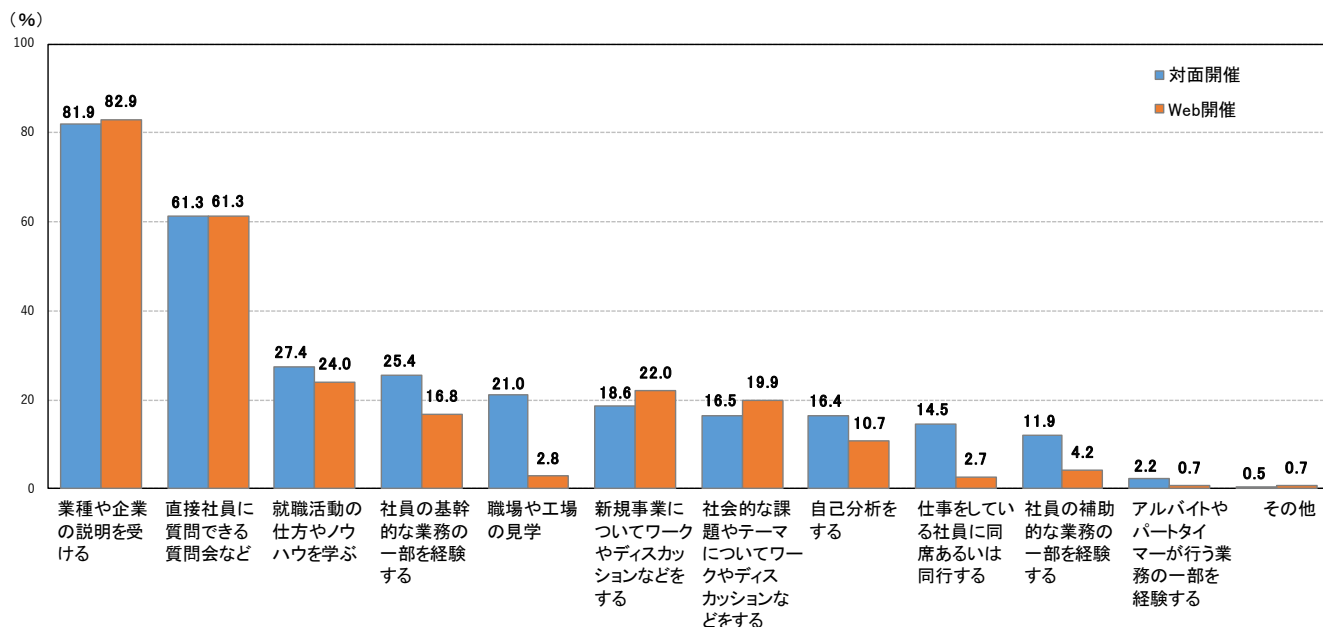
* 「未経験者」はn数が少ないため参考データ

対面開催、Web開催ともに、実施されたプログラムは「業種や企業の説明を受ける」が最多

各実施形態で実施されたインターンシッププログラム内容を聴取すると、対面・Web開催いずれも、高いものから順に「業種や企業の説明を受ける」、「直接社員に質問できる質問会など」、「就職活動の仕方やノウハウを学ぶ」であった。

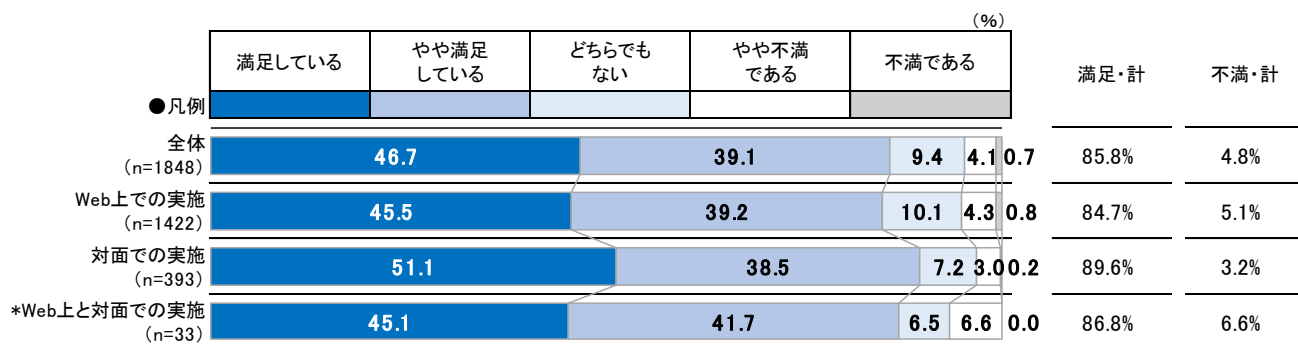
■2022年卒）実施形態別インターンシップのプログラム参加割合

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ経験者／複数回答・インターンシップ参加企業最大5社分についてそれぞれ聴取し合計)



■2022年卒）インターンシップ実施形態別満足度

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ経験者／複数回答・インターンシップ参加企業最大5社分についてそれぞれ聴取し合計)



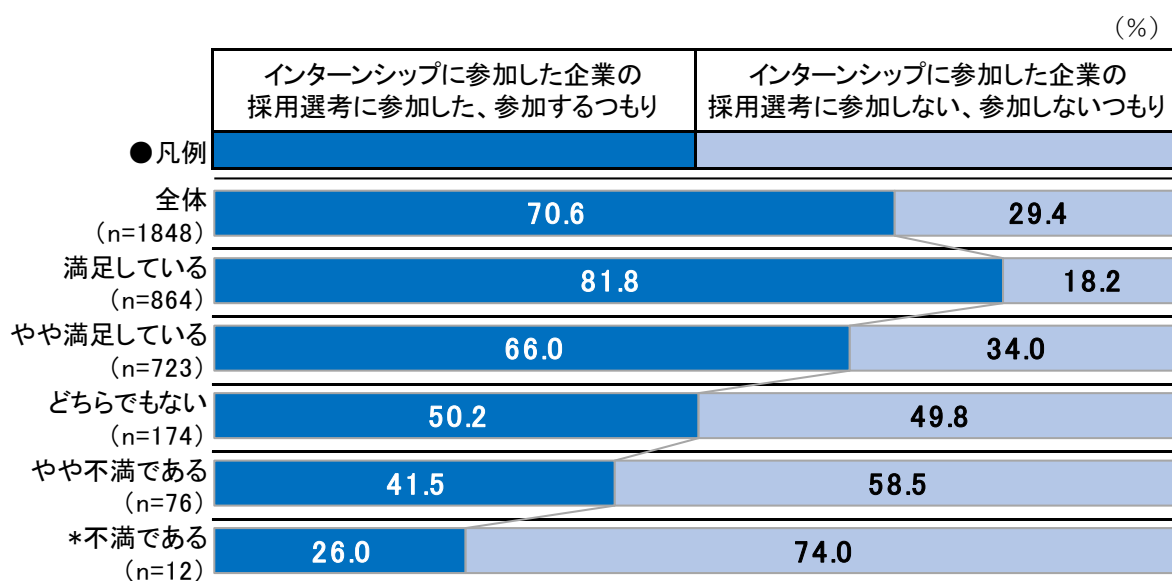
* 「Web上と対面での実施」はn数が少ないため参考データ

インターンシップ満足度が高いと、採用選考参加意向も高い

インターンシップに参加した企業の採用選考への参加意向を聴取したところ、「採用選考に参加した、参加するつもり」は、インターンシップに「満足している」では81.8%、「やや満足している」では66.0%、「どちらでもない」では50.2%、「やや不満である」では41.5%、「不満である」では26.0%であった。

■2022年卒) インターンシップ参加企業の採用選考参加意向

(大学生・インターンシップ経験者/複数回答・インターンシップ参加企業最大5社分についてそれぞれ聴取し合計)



* 「不満である」はn数が少ないため参考データ

Webインターンシップでも仕事や職場のリアルを体験できるかがポイント

インターンシップ参加者に、インターンシップに対する感想・考えを聴取すると「職場の様子を映してくれると実感が湧きやすい」や「グループワークのみでは会社の雰囲気がわからなかった」、「Webで仕事体験を企画する企業が増えてほしい」という要望や、「フィードバックを細かくいただけた企業は志望度が上がった」「企業の雰囲気を感じられることは、その後の志望に大きく関わるように感じた」といった声が聞かれた。

■インターンシップに対する感想・考え

(大学生・インターンシップ参加者／自由回答)

コメント	文理・性別	インターンシップ (Web) 参加件数	インターンシップ (対面) 参加件数
フィードバックを細かくいただけた企業については、入社後も成長させてくれそうであると感じ、志望度が上がった傾向にあります。	文系女性	18	2
オンラインだとあまり会社の雰囲気が分らないので、オンラインで会社見学できるようなインターンに参加してみたい。	理系男性	8	0
オンラインインターンシップにおいて、企業の不手際が見え、オンラインに対応してない・できない会社だということが分かり、新たな企業選びの視点が増えた。	文系女性	15	15
ウェブ面接がこれからもどんどん増えてくると思うので出来ればオンライン上でインターンに最後まで参加したいです。	文系女性	5	10
インターンシップに参加して、企業の雰囲気を感じられることは、その後の志望に大きく関わるように感じた。	理系女性	1	2
インターンシップは業界研究に繋がることはもちろん、他の就活生と触れ合うことで自分自身の課題の発見にもつながるいい機会だと思います。実際、情報系の学生だけが集められたインターンシップを体験した際に、グループワークで自分のIT知識の無さを実感しました。	理系女性	5	0
Webでの仕事体験を企画していただける企業さんが増えていくと良いと思います。	理系女性	19	1
実際の仕事経験ができるプログラムは今後の仕事選びの参考になるが、仕事内容説明だけだと説明会と変わらないので、見極めて参加したいと思った。	文系女性	28	1
オンライン開催が多くなったことで、時間を調整すれば多くの企業とのコネクションを作ることができると感じた。	理系男性	10	1
オンラインでは、全国の学生と会話ができるため良かったと感じています。また、対面も社員の方に深い質問ができるため良かったと感じます。	文系男性	1	2
実務体験をロープレという形であっても行ってほしい。テレアポが主だ、足を動かす仕事だ、と実際に自分の働くイメージを明確にしたいから。	文系女性	8	2
どこの企業の1dayも、事業内容の説明をして社会問題解決が新規事業提案のワークをするだけで似たり寄ったりだったのは残念だった。	理系男性	8	0
県外の優秀な学生と触れ合えるオンラインインターンシップでは、とても刺激をもらえた。	文系女性	3	1
グループワークのみであると、会社の雰囲気がよく分らなかった。座談会も同時に開催する企業はとても理解が深まった。今後は、社員の方とお話できるようなイベントを中心に参加したい。	理系男性	4	1
社員の方に、良い面も悪い面も聞くことで、現在のイメージと実際に内定をもらった際のギャップを減らすことができると感じた。	文系女性	2	2
職場の雰囲気を知るため、職場見学がしたい。	文系男性	21	4
職場の様子を映してくださると、実感が湧きやすくてありがたかったです。	文系女性	21	0

オンラインでの就職活動に対する戸惑いの声も

就職活動に対する不安を聴取すると、新型コロナウイルス感染症の影響から「移動が不安」「情報交換をすることができない」といった声が聞かれた。また、「Web面接への不安」の声もある一方で、「対面に変更されたらと不安」といった声も聞かれた。

■就職活動に対する不安

(大学生・活動経験者・活動予定者／自由回答)

コメント	文理・性別
大学のある地域とは別の地域での就職希望のためコロナ禍の移動が不安。	理系女性
グループディスカッションの練習の場が少なく不安である。フィードバックをもらえる機会が欲しい。	理系女性
ESで落ちた場合、ESが悪いのか、学歴が悪いのか、コロナの情勢が悪いのかのどれなのかがわからない点が不安。	文系男性
コロナの影響で、多くの人が業界を絞らずに就活を行っている印象があるため、倍率が高くなるのではないかと心配です。	理系女性
コロナの影響で学校の友達と直接会う機会がなく、情報交換をすることが出来ないため周りの情報がなくて不安。	文系女性
面接の経験がなく、キャリアセンターに行く機会もないので練習ができずに本番を迎えることが不安です。	文系女性
自分に合う企業がどこかわからない。働くイメージができず困っている。	文系女性
不安はあります。コロナウイルスの影響でインターンシップが相次いで中止になり、新卒採用にも影響が出ると思うからです。また一度住んでいる県でクラスターが発生し、ちょうど県外が開催地のインターンシップと重なり、企業の方から参加を断られたことがありました。コロナウイルスの影響がどこまで就職活動に影響するのか予想ができないのでとても不安に感じます。	文系女性
コロナ禍でWeb面接が不安に思う。自分の通信環境や、カメラの映り具合などが選考に関わってくると思うが、それらが本番でいけるのが不安だから。通信環境についてはこちらではどうしようも出来ないので余計に不安に思う。	文系女性
さまざまなIT業界のインターンに参加したが本当に自分がやりたいことが見つからず、どの企業に就職したら良いのかよく分からない。	理系男性
コロナ禍での採用取り消し、情報の不透明さ。	文系女性
対面での採用選考の想定をしていないため、急遽対面に変更されたらと不安になる。	理系女性

(参考) インターンシッププログラム内容別満足度

■2022年卒) 対面開催インターンシッププログラム内容別満足度「満足している」回答割合(上位5項目抜粋)

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ経験者/複数回答・インターンシップ参加企業最大5社分についてそれぞれ聴取し合計)

	対面参加			
	2020年9月調査時点		2021年1月調査時点	
1	社会的な課題やテーマについてワークやディスカッションなどをする	63.4%	仕事をしている社員に同席あるいは同行する	68.7%
2	アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部を経験する	63.2%	社員の基幹的な業務の一部を経験する	67.0%
3	職場や工場の見学	62.9%	就職活動の仕方やノウハウを学ぶ	63.9%
4	社員の基幹的な業務の一部を経験する	62.7%	職場や工場の見学	63.1%
5	就職活動の仕方やノウハウを学ぶ	59.8%	社会的な課題やテーマについてワークやディスカッションなどをする	61.5%

■2022年卒) Web開催インターンシッププログラム内容別満足度「満足している」回答割合(上位5項目抜粋)

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ経験者/複数回答・インターンシップ参加企業最大5社分についてそれぞれ聴取し合計)

	Web参加			
	2020年9月調査時点		2021年1月調査時点	
1	社員の基幹的な業務の一部を経験する	49.1%	社員の基幹的な業務の一部を経験する	57.5%
2	社会的な課題やテーマについてワークやディスカッションなどをする	46.7%	新規事業についてワークやディスカッションなどをする	55.4%
3	新規事業についてワークやディスカッションなどをする	45.9%	就職活動の仕方やノウハウを学ぶ	51.4%
4	直接社員に質問できる質問会など	42.1%	直接社員に質問できる質問会など	50.2%
5	仕事をしている社員に同席あるいは同行する	40.4%	仕事をしている社員に同席あるいは同行する	49.4%